

2011 日和佐うみがめトライアスロン参戦記

～ちょっと長いですがご容赦を～

宿院 雅広

【参加者】小島一郎(イチロー)、一二三清(キヨシ)、樋口善夫&北原学(通称 H₂O : 理由は後述)、宿院雅広(私)

○灼熱の徳島は日和佐へ

7月17日(日)、日和佐うみがめトライアスロンに上記メンバーで参戦しました。
先発の一二三号に便乗するはイチローさん、キヨシくん、私と東京からの応援団ミカちゃん。

16日(土)の朝5時に京都を出発して現地に10時着。

「どうすんの、こんな早い時間に着いて」ってくらい時間に余裕があります。

さすがにこの時間、街はまだ静か。

明日大会が行われるとは思えないほどの静けさです。

民宿「弘陽荘」のおばちゃんは、こんなに早い時間にも関わらず「どうぞー」と親切に部屋に案内してくれました。

「おばちゃん、ありがとう。来年も泊まります！」

一方、後発 H₂O の 2 人組は朝 7 時に出発して渋滞に巻き込まれ、到着は 1 時過ぎとのこと。

ってわけで、先発隊は早速スイム会場に。

では、参戦記のはじまりはじまり～！

○スイムコースチェック

どどどーん、ざっぱーん、じゃじゃじゃー。

台風 6 号の接近で、すさまじい波しぶき。

「こんなところで泳いだら絶対おぼれる・・・」
と戦々恐々。

で、近くで作業中の大会関係者に聞くと、コースを変更して河口を泳ぐことになるそう。

決してきれいな川ではないけれど、あの波の中を泳ぐよりマシかとほっと胸をなでおろしました。

約 30 分泳いだところで、お腹も空いたので、予約してあった「ひわさ屋」でランチタイム。
やがて H₂O も合流して、食事後は受付会場へ。



○バイクコースチェック

車でコースチェックと思っていたのに、キヨシくんがどうしても走りたいとやる気満々。

さんざんどうしようかと迷ったけど「ほな行きましょ！」

でも、一緒に走ったら潰されるので、ひと足先に出発してコースチェック。

「やっぱりきついつ、このコース」

でも、たまりません、このアップダウンの連続コース。

私は翌日に備えて往路のみで先導車に乗り込むも、キヨシくんは復路もひた走る。

いよっ、さすが、宮古島のシード選手！

○夕食から就寝まで

徳島市内のビジネスホテルに泊まる H₂O を見送ったあと、現地宿泊組はビールで乾杯しながら少し早い夕食を済ませ、その後酔い覚ましに、「うみがめ荘」に泊まっている大阪、滋賀の友人を訪ねてしばし談笑。

が、キヨシくんは飲み足らない様子で、このあと居酒屋に出かけて、ビール 2 杯飲んだとのこと。おいおい。

9 時に「うみがめ祭り」の花火が始まり、部屋のベランダから眺めます。

目の前で見られるここはベストロケーション。

「おばちゃん、ありがとう。来年も泊まります！」(2 回目)



翌朝 5時半の起床に備えて 10時にはおとなしく消灯。
が、「暑い、暑い、暑い～」とのた打ち回るキヨシくん。

「だまってはよ寝！」と突き放し、やがて駄々っ子はおとなしく寝ましたとき。ははは。

○起床からスイムスタートまで

朝 5時半起床後、みんなそれぞれに緊張しながらバイクをセットし、スイム会場へ。

○スイム

第1ウェーブのイチローさん、キヨシくん、H₂O-K(北原さん)、私が先陣を切ります。

さあスタート！

あわててゴーグルをかけようとした瞬間、なななんとひもがはずれたではあーりませんか。

「おおー、もうスタートやのになんちゅうこっちゃ！」と頭の中が真っ白に。

あせればあせるほどうまくはまりません。

やがて「ぷおーん」とスタートホーンがなり、みんな海へ。

私は一人残され、必死ではめようとするもなかなかはまりません。(下写真の矢印)

私「あかーん、ゴーグルなしで泳げるやろか
(冷や汗)」

神様「いやいやそれは無理だ！」

私「でもいちかばちか行ってみよか！」

神様「やめなさい！落ち着け！落ち着け！
冷静に！」

私と神様「・・・・・・・・」

私「やったー、なんとか直ったあ〜、神様ありがとー(うれし涙)」

しかし周りを見ると誰もいません…(悲し涙)
またはずれないようにとおそるおそる海に入り、スイムフィニッシュを目指します。

結局、バトルに巻き込まれることもなく、リラックスして泳げたためか、意外に早くスイムアップ。

第2ウェーブのH₂O-H(樋口さん)は、あまりの苦しさにブイにつかまって、ライフセーバーに2回お世話になり、いつリタイヤしようかと危なかったそうです。



私



イチローさん



キヨシくん



H₂O-Kさん



H₂O-Hさん

○バイク

バイクラックに駆け込みスタート直前、少し離れたラックにイチローさん発見。

「やばい、こりゃ追いつかれる。」

ハワイ(鳥取大会)に続き、スタート直後から必死でこぐ。

ラックにキヨシくんのバイクがあったので、うしろから追いかけて来るし。

アップダウンに加え、大小 100 を超えるカーブが続くハードなコースを攻め続ける。

前日の試走で描いたイメージどおりに走るが、やっぱりこのコースはきつい。が、楽しい。

折り返してすぐにイチローさん、キヨシくとすれ違い、さらにスピードを上げる。

途中、H₂O の 2 人とすれ違いざまに、声を掛け合い、お互い気合を入れる。

「暑い、うー、苦しい。」

それでも何とか追いつかれずにバイクフィニッシュ。

なんでもイチローさんは、間違っって補給ボトルを頭からかけて、体ヌタヌタになったそう。

キヨシくんは、お腹の調子が悪い上、ギヤの調子がすこぶる悪く、満足に走れなかったそう。

H₂O-K(北原さん)は、スイムのバトルが尾を引いてふらふらだったそう。

H₂O-H(樋口さん)は、ボトル 3 本空になるほど暑さにやられたそう。

私は、補給ジェルを DH バーにべっちょり落として、ヌルヌル状態で、握ると滑るのなんのって。みんないろいろあるもんですね。



私

イチローさん

キヨシくん

H₂O - K さん

H₂O - H さん

○ラン

相変わらず学習能力がないためか、キロ 4 分でダッシュダウン！

で、予定通り 2 キロ過ぎてペースダウン。

ここから、エイドで氷→息を吹き返す→ペースダウン→エイドで氷→息を吹き返すの繰り返し。

5 キロ地点で 21 分ちょっとと暑さの割りに上出来ペース。

折り返してすぐにイチローさんとすれ違い、またもやあせる。

ところが、キヨシくんといつまでたっても会いません。

「おかしいな、気づかんかったんやろか、それともひょっとしてリタイヤ？」

それはさておき、ゴールも間近。

最後の力を振り絞って、前方にいる選手を 2 人抜いてぎりぎり 40 番以内か？

その 2 分後イチローさんもゴール。

そして全員無事完走！！

ところでキヨシくん、あとで聞くと、お腹がごろごろして、近所の民家でトイレを借りていたそう。

だからすれ違わなかったんやね。

「飲み過ぎのせいでリタイヤしたかと思ったわ」とゴール直前のキヨシくんをからかっています。(^^)



○レース後

みんなで健闘を称えあい、しばしからだを休めたあと、表彰式に向かいました。
イチローさんは、50-54のカテゴリーで準優勝。おめでとうございます！とパチパチ拍手をしながら、視線の先はウィダーガール^^；
JTU エイジランキングでダントツの1位です。お見事！

完走者 631 人(男子 540 人)

	タイム	総合
宿院 雅広	2:29:09.21	42(38)
小島 一朗	2:31:08.98	47(43)
一二三 清	2:53:32.39	209(187)
北原 学	3:02:37.84	305(269)
樋口 善夫	3:16:33.57	418(364)



○ところで

H₂O の説明をしなければなりません。
樋口さんと北原さんは、今年の KTC 総会で意気投合し、日和佐大会に出ようということになり、今回に至りました。
お2人はご覧のように何から何までそっくり。笑いませんか？というか、笑いますよね。
双子の兄弟と言っても誰も疑いません。
この2人が、日和佐への道中で H₂O を結成したのです。
2人曰く「ハゲ・2人・おやじ」の頭文字をとって、H₂O と命名したとのことですが、いやいや私は「エッチな2人のおハゲさん」とお呼びさせていただきます。はい^^；
愛すべき H₂O、海を眺めながら「来年も一緒に来ようね♥」なんて話してるんでしょね。



○来年も！

コースのハードさもさることながら、町を挙げてのホスピタリティあふれる素敵な大会です。
大会関係者、ボランティアの中学生、同行した皆さん、現地で会った大阪、滋賀のお友達、その他家族を含めて大勢の方に感謝しつつ、来年もまた参戦します。
「おばちゃん、ありがとう。来年も泊まります！」(3回目)

○最後に

今回使用した写真は、ミカちゃんと大阪のお友達に提供していただいたものです。
ほかにもいい写真がたくさんありました。
ありがとうございました。
それからカエルフォトサービスさんにも何点か提供していただきましたが、さすがプロ！と言える臨場感あふれる写真。
これまたありがとうございました。
ではこれにておしまい。。。。

